

新今宮駅北側まちづくりビジョンの振り返りと今後の取組の方向性について

・本ビジョンは、まちの変化が進む新今宮駅北側エリアにおいて、観光・賑わいづくりの視点を踏まえた概ね5年(大阪・関西万博)～10年(なにわ筋線開業)のまちづくりとして関係者・事業者による取組推進や周囲の発展に向けて投資しやすい環境を創出するため2020年に策定したものです。

・以降これまでの5年間で、本ビジョンに基づき、関係者・事業者が連携し、快適な歩行者空間の創出や高架下空間の活用などによる賑わい創出など、インバウンドをはじめとした来街者が快適に観光・回遊できるまちをめざし取組みを進めてきました。

・今後5年間は、2031年のなにわ筋線の開業にむけて、これまで進めてきた取組みを止めることなく、歩道や公園の本格的な整備を進めるとともに、駅や高架下空間の活用などに応じたまちづくりも必要です。

・引き続き、本ビジョンで示す将来像「訪れてよし・住んでよしのまち」にむけて、関係者間の連携※を継続しながら、地域住民と来街者等が共存できるまちをめざして取組みを進めます。

(今後のスケジュールイメージは右記のとおり)

【今後のスケジュールイメージ】

まちづくりの方向性	2025年度 ★大阪・関西万博	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度 2031年春 ★なにわ筋線開業
① 快適な歩行者空間	歩道沿いフェンスの撤去・美装化						
	回遊性や生活導線を考慮した歩行者空間の検討・整備						
② 玄関口にふさわしいおもてなし環境づくり	官民連携による地域の魅力向上						
③ 交流軸に沿った賑わい・憩いの空間の創出	恵美公園の拡張整備						
	なんばや天王寺・阿倍野とつながる賑わい・憩いの空間の創出						
④ 乗換動線の強化等に向けた駅改修の方向性の決定	周辺のまちづくり等の動向を踏まえつつ、新今宮駅（JR-南海間）乗換ルートのバリアフリー化等の方向性検討						
⑤ 駅周辺における適正な放置自転車対策	将来的な駅改修に伴う放置自転車対策のあり方検討						
	駐輪場の再編・整備						

※民間事業者等で構成される「新今宮駅周辺観光まちづくり推進協議会」と大阪市を軸に、地域団体や商業振興団体や観光施設などの関係者と連携により取組みを進めることとしています。